

NHK 子ども科学電話相談
もの見かたが**変わる**
10歳からの Q&A



NHK「子ども科学電話相談」制作班/編
NHK 出版〔404〕

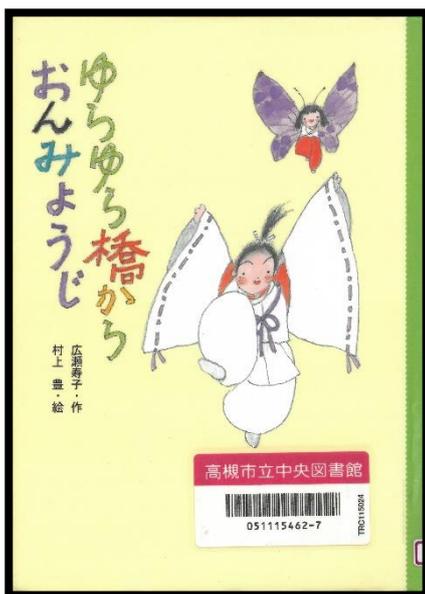


人気ラジオ番組「NHK 子ども科学電話相談」に寄せられた、「生きること」についてのなぜ？に各分野の専門家の先生たちが向き合います。

「自信がなくて不安」「どうして人はストレスをかかえるの」といった心のモヤモヤは科学の力で解決できるのでしょうか。実は「心」について考えることも科学なのです。

先生たちの科学者としての見かたを知ることによって、自分がこうあるべきと思いきこんでいたことに気づかされ、もの見かたが広がります。

ゆらゆら橋からおんみょうじ



広瀬 寿子/著 村上 豊/画
佼成出版社〔913ヒロ〕

サトシは夏休みの間、京都の山奥にある祖父母の家で過ごすことになりました。ある日、リコーダーの練習をするため山を歩いていると、横笛を吹きながらつり橋をわたってくる子どものおんみょうじ捨丸に出会います。

捨丸はあの有名な安倍晴明の弟子で、サトシの祖父母の家の離れで修行することになりました。サトシの祖父が病気だと知った捨丸は、自分の術で病気をなおすといいただきます。

ラビットホッピング！

うさぎがぼくのパートナー！？



マーリン・エリクソン/作 きただい えりこ/訳

もりやま しなこ
森山 標子/画

理論社〔949エ〕

妹の病気が悪くなり、ママとパパは病院へいき、ぼくはおじいちゃんの家^{おじいちゃんの家}に預けられた。さわがしいとこたちとは気が合わず、だれもぼくの本当のきもちを分かってくれない。

そんなある日、ぼくは庭にまよいこんだうさぎを助けたことで、うさぎのブリーダーのイラストに出会った。うさぎの世話やジャンプの練習を手伝ううちに、ぼくが競技大会に出場することになり、パートナーのうさぎのヴェルデと特訓の日々がはじまる。

ラビットホッピングというめずらしい競技についての紹介ページも楽しい、スウェーデンの物語です。

わたしたちの家が火事です

地球を救おうとよびかけるグレッタ・トゥーンベリ



ジャネット・ウィンター/文・絵

ふくもと ゆみこ
福本 友美子/訳

鈴木出版〔エ〕

スウェーデンに住むグレッタは、ある日授業で環境の話^{かんきょう}を聞き、地球の温暖化^{おんなんか}によってたくさんの生きもののいのちがおびやかされていることを知りました。グレッタは地球温暖化についての本をたくさん読み、テレビ番組を何時間も見ました。そして、気候変動のことばかり考えるようになりました。

グレッタは、学校を休み、国会議事堂前に座り込みをはじめます。その行動は世界中の多くの子ども達に影響を与えています。

地球を守るために、自分に何ができるかを考えさせられる1冊です。